

## 谷川岳山行報告

【山行日】2016年3月26日(土) 快晴

【集 合】 岩舟支所P AM 6:00

【費 用】 マイカー1台 : 6,500円

【メンバー】 CL:鈴木、香川、松舘、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=

谷川岳ベースプラザ P7:40/8:30+++

天神平駅 8:50/9:05~熊穴沢避難小屋 10:40~

オキの耳 11:30/11:40~トマの耳 11:55/12:20

~熊穴沢避難小屋 13:20~天神平駅 14:00+++谷川岳ベースプラザ P14:40=岩舟支所 16:45

M 喜ちゃんから雪山の依頼があったが、なかなか天気と日程が合わず実現できなかった。



谷川岳ベースプラザに駐車するが、前回は平日で無料だったが土日は1000円支払う。登る準備を整えエレベーターで6階のチケット売り場へ向かう。エレベーターを降りると、すでに長い列が出来ていた。ザックを置いて列の最後尾に並んで待つ。30分待ってようやく受付開始し、JAFカードで100円割引で往復券を購入しゴ



26日(土)は高気圧に覆われて天気が良さそうなので、M 喜ちゃんに都合を聞くとOKの返事が返って来た。

皆さんに「谷川岳雪山山行」の案内をメールで渡し、やっとM 喜ちゃんの希望を叶えられた。

朝出発した頃は雲が多く良い天気ではなかったが、関越道に入ると上州武尊山や谷川岳が白く輝いていた。昨日と一昨日と二日間25cm降雪があり、谷川岳がより白く輝いて見えた。



ンドラ乗り場へ急ぐ。ゴンドラに乗ると谷川岳や白毛門が良く見え、これから登る谷川岳に心が躍る。天神平駅でゴンドラを降り、出口から右に進むと大勢の登山者が登る準備をしている。素晴らしい天気のもと、我々もアイゼンを付け準備を整え出発する。



スキー場の脇を登って行くが、いきなり急な登りで息が切れる。少し傾斜が緩くなった所からトラバース気味に進むと、天神峠からの尾根に合わさる。ここからは尾根通しに登るようになり、左の雪庇を踏み抜かないよう慎重に進む。今日は登山者が多く、小ピークを過ぎた先の急な下りで渋滞していた。前回は雪が多く、岩もロープも露出して無くそれほど難しくなかったが、今日は岩が露出しておりロープを頼りに下るので渋滞していた。10分くらい待つて無事通過し、アップダウンを繰り返すと熊穴沢避

難小屋に着いた。ここからさらに急な登りが続き、M 喜ちゃんのペースが遅くなる。

脇に避けて後続の登山者に道を譲り呼吸を整えまた登る。上に見える岩まで頑張ろうと声をかけ、「天狗の留り場」まで登り休憩する。リンゴと揚げ煎餅を食べながら、浅間山や仙ノ倉山から苗場山の眺望を楽しむ。

天神ザンゲ岩を過ぎると広い斜面の登りとなり、急な斜面をまっすぐに登る一番つらい所だ。

ひたすら登ると肩の小屋が見え、西黒尾根分岐の道標を過ぎると傾斜が緩くなり間もなくトマの耳



に着く。360度の大展望にM 喜ちゃんのテンションは上がり、「すご〜い」を連発する。山頂は登山者で賑わっており、写真を撮るのも順番待ち。皆さんもっと写真を撮りたかったようだが、ドンドン登って来るので先のオキの耳へ急いだ。オキの耳への稜線は大雪庇が張り出して素晴らしい。オキの耳も大勢の登山者で賑わっており、山頂の標柱前で記念写真を撮って少し先の登山道脇に腰をおろし昼食を食べる。松ちゃんが持ってきた

バナナとサンドイッチが本日の昼ごはん。

皆さんはバナナとカップ麺を食べていた。万太郎山や平標山、遠くに苗場山等の絶景を眺めながら最高のランチを堪能し至福のひと時。もっとゆっくり眺めていたいが、次から次に登って来るので場所を譲って下山する。トマの耳まで戻り、もう一度絶景を楽しんで下ることにする。下りは楽だが雪がアイゼンに付いて歩きにくい。「降りちゃうなんてもったいないねえ〜」と言いながら下って行く。



熊穴沢避難小屋で休憩し、渋滞した岩場も登りは難なく通過する。登りはきつかったが、下りはアツ

と言う間に下り天神平に着いた。アイゼンを外し、ゴンドラに乗って谷川岳ベースプラザに到着し帰路についた。素晴らしい天気恵まれ、最高の雪山を堪能でき大満足の山行となった。

